

村井信幸先生略年譜

生没年月日 一九五二年六月二日～二〇一九年二月一〇日

学歴

- 一九七一年三月 暁星高等学校卒業
- 一九七一年四月 上智大学文学部史学科入学
- 一九七五年三月 上智大学文学部史学科卒業
- 一九七八年三月 上智大学文学研究科史学専攻修士課程修了（文学修士）
「Zyzygote族の文化史的研究」
- 一九八三年三月 上智大学文学研究科史学専攻博士後期課程単位取得退学

職歴

- 一九七八年四月 国立民族学博物館共同研究員（一九八五年三月まで）
- 一九七九年四月 東京高等学校専任講師（一九八〇年三月まで）
- 一九八四年四月 千葉県船橋市緊急民俗調査団員（一九九六年三月まで）
- 一九八四年四月 民族学振興会研究部研究員（一九八八年三月まで）
- 一九八六年四月 亜細亜大学アジア研究所嘱託研究員（一九九四年三月まで）
- 一九八九年四月 国立民族学博物館研究協力者

- 一九九四年四月 大東文化大学文学部教養課程専任講師（一九九六年三月まで）
 一九九四年四月 大東文化大学東洋研究所兼任研究員
 一九九六年四月 大東文化大学文学部中国文学科専任講師（一九九九年三月まで）
 一九九九年四月 大東文化大学文学部中国文学科助教授（二〇〇七年三月まで）
 二〇〇七年四月 大東文化大学文学部中国学科（二〇一七年四月より中国文学科に名称変更）准教授
 二〇一八年四月 大東文化大学文学部歴史文化学科准教授

村井信幸先生御業績

単著論文・研究ノート

- 「納西（ナシ）族に関する記録―木氏の系譜を中心として」
 （『東南アジア史学会会報』三六号、東南アジア史学会、一九八二年）
- 「納西族の種族史的研究―土司の系譜を中心として」
 （『東南アジア―歴史と文化』一二号、東南アジア史学会、一九八三年）
- 「君島久子訳『中国の神話―天地を分けた巨人』」（『民博通信』二六号、国立民族学博物館、一九八四年）

「西南中国少数民族の創世神話―ナシ族の（人類遷徙記）を中心として」

（君島久子編『日本民間伝承の源流―日本基層文化の探究』小学館、一九八九年）

「ナシ族研究ノート」J. F. Rock 氏の研究業績を中心として」

（『東南アジア―歴史と文化』一九九〇年一九号、東南アジア史学会、一九九〇年）

「麗江納西族の社会文化研究」（『中国研究月報』五〇九号、一般社団法人中国研究所、一九九〇年）

「麗江納西族の社会文化研究」（『中国研究月報』五〇九号、中国研究所、一九九〇年）

「〔研究ノート〕納西族の種族形式に関する一考察」（『紀尾井史学』一〇号、上智大学大学院史学専攻院生会、一九九一年）

「納西族の種族形成に関する一考察」（『紀尾井史学』一〇号、上智大学大学院史学専攻院生会、一九九一年）

「ナシ族の東巴經典研究」（『湘南短期大学紀要』三一―一号、神奈川県立短期大学部、一九九二年）

「永寧ナシ族（摩梭人）の葬送儀礼」（『湘南短期大学紀要』四号、神奈川県立短期大学部、一九九三年）

「永寧土司の政治支配組織」（『東洋研究』一一三号、大東文化大学東洋研究所、一九九四年）

「ナシ族の葬送儀礼と他界観」（梶村昇編『アジア人のみた靈魂の行方』大東出版社、一九九四年）

「永寧土司支配領域における社会制度」（『東洋研究』一一八号、大東文化大学東洋研究所、一九九六年）

「西南中国のナシ族の神話に現れる竜」（『東洋研究』一二三号、大東文化大学東洋研究所、一九九七年）

「ナシ族の心中物語」

（『東アジア文化と日本文化―東アジアにおける恋愛と死をめぐる』大東文化大学人文科学研究所、一九九八年）

「ナシ族の神話、伝承に現れる鶏の役割について」（『東洋研究』一二八号、大東文化大学東洋研究所、一九九八年）

「摩梭人（永寧納西族）の山神崇拜について」（『東洋研究』一三四号、大東文化大学東洋研究所、一九九九年）

「摩梭人（永寧納西族）の祖先祭祀」（『東洋研究』一三九号、大東文化大学東洋研究所、二〇〇二年）

- 「摩梭人（永寧納西族）の成年式」（『東洋研究』一四二号、大東文化大学東洋研究所、二〇〇一年）
- 「納西人と楊氏一族」について」（『大東文化大學漢學會誌』四二号、大東文化大學漢學會、二〇〇三年）
- 「清代改土歸流時の納西族の社会変化」（『東洋研究』一六六号、大東文化大学東洋研究所、二〇〇七年）
- 「歴史教育の方法に関する一考察―教えることの難しさ」（『教職課程センター紀要』一号、二〇一六年）
- 「ナシ（納西）族の東巴教開祖に関する神話の一考察」
 （『大東文化大學漢學會誌』五六号、大東文化大學漢學會、二〇一七年）
- 「ナシ族の神話中の神山の役割に関する一考察」（『大東文化大學漢學會誌』五七号、大東文化大學漢學會、二〇一八年）
- 「ナシ族の神話に現れる神々、精霊の役割」（『大東文化大學漢學會誌』五八号、大東文化大學漢學會、二〇一九年）